

サーキュラーエコノミー及び大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現

①実施概要

大量生産・大量消費・大量廃棄型の一方通行型の経済社会活動（線形経済）から、持続可能な形で資源を利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を実現する。あわせて、プラスチックの流出を防止し新たな汚染につながらない「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を実現した社会像を効果的に発信する。

具体的には、①資源循環に資する技術、海洋に流出したプラスチックごみの削減等の官民連携の取組等を展示や発表等で紹介・発信、②博覧会協会に対して運営に関する廃プラ削減、食品ロス削減に関する技術的な助言等を行う。

（実施主体）民間企業、自治体等

（実施場所）EXPOメッセ

（実施期間）テーマウィーク期間（2025年9月23日～29日）

②今後の実施方針

- ・リサイクル技術や代替素材化（製品のバイオマス化・再生材利用等）の技術開発及び実証等の最新事例の蓄積
- ・地方公共団体等による資源循環に資するモデル形成支援事業の実施及び横展開
- ・多様な先進的取組の支援（プラスチックスマート、ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業等）
- ・万博運営における廃プラ削減、食品ロス削減に関する技術的な助言

③予算

令和7年度概算決定額：7億円の内数

プラスチック資源循環等推進事業費：350百万円の内数

（右記URLのP3）<https://www.env.go.jp/content/000279250.pdf>

海洋プラスチックごみ総合対策費のうち 海洋ごみに係る削減方策総合検討・海岸地域対策推進事業：394百万円の内数

（右記URLのP1）<https://www.env.go.jp/content/000279218.pdf>

④工程表

2023年度	2024年度	2025年度
リサイクル技術や代替素材化（製品のバイオマス化・再生材利用等）の技術開発及び実証等		大阪・関西万博においてサーキュラーエコノミー・OBOVの実現に向けた成果・先進技術及び事例の展示及びイベント開催
自治体、企業・事業者、NPO、研究・教育関係者等による実態把握、発生抑制、排出削減等先進的取組を国が支援		
	テーマウィークでのイベント企画の検討	万博運営における廃プラ削減、食品ロス削減に関する技術的な助言等を行う
地方公共団体等による資源循環に資するモデル事業の実施によるノウハウの蓄積及び展開（廃プラ削減、食品ロス削減）		
万博運営における廃プラ削減、食品ロス削減に関する技術的な助言・支援		